

## 第1節 協約の達成状況

本事業団は横浜市の外郭団体として、平成18年度から22年度にかけて「協約」を横浜市と締結しました。その最終年度にあたる今年度の達成状況は、次のとおりです。

### 【協約事項1】

在宅リハビリテーション訪問実績を延べ5,000人以上とします。

<22年度実績>

在宅リハビリテーション訪問実績は4,848人で、目標値に届きませんでした。

### 【協約事項2】

横浜市における障害児者のスポーツ・文化活動の中核機能を発揮し、ラポールの利用者数（障害者）を280,000人以上、地域における事業実施回数を230回以上とします。

<22年度実績>

① 障害者の利用者数

障害者の利用者数は292,142人で、目標を達成しました。

② 地域における事業実施回数

地域における事業実施回数は274回で、目標値を大きく上回りました。

### 【協約事項3】

サービス向上に向けて満足度調査を小児部門4施設で統一して毎年実施し、10点満点中8点以上の評価を獲得します。

<22年度実績>

前年度に引き続き、小児部門4施設合同で統一した調査項目により満足度調査を実施しました。その結果、4施設ともに総合評価（平均値）においては10点満点換算で8点以上の評価を得ることができました。

① 調査対象：ア 診療所利用児の保護者

イ 通園施設利用児の保護者

ウ 関係機関（担当エリアの保育所・幼稚園等）

② 総合満足度：部門毎の総合的な満足度（5段階）を10段階換算した平均値  
(10点満点)

センター名	診療	通園	関係機関	総合満足度（昨年度）
リハセンター（小児）	8.3	8.9	7.7	8.3（8.2）
戸塚センター	8.2	8.4	8.2	8.3（8.0）
北部センター	8.2	8.0	7.8	8.0（7.9）
西部センター	8.4	8.6	8.0	8.3（8.0）

#### 【協約事項4】

一般管理費を3%以上削減（平成22年度目標値：1,018,459千円）するとともに、リハセンター診療報酬収入を10,000千円以上拡充します。（平成22年度目標値：193,288千円）

##### <22年度実績>

① 一般管理費の削減

一般管理費は1,013,197千円で、目標を達成しています。

② リハセンター診療報酬収入の拡充

診療報酬収入は220,873千円で、目標値を大きく上回りました。

#### 【協約事項5】

平成22年度中に職務や成果に基づいた独自の人事給与制度を、全職員を対象として導入します。

##### <22年度実績>

人事給与に関連する既存制度の見直しや新規制度の構築を図り、事業団独自の人事給与制度を導入しました。

(1) 資格等級制度の改革

仕事の難易度や求められる能力など、等級毎の役割をより明確にすることにより、業務を効率的に執行できる体制作りを行いました。

(2) 人事考課制度の導入

「成果」「意欲」「能力」の3つの要素により、人事考課を行いました。本人の行動や業績を評価するとともに、適正な処遇を実施し、役割に応じた適正な人材育成の仕組みを整備しました。

(3) 給与制度の改革

新給料表を整備し、等級毎の号給間差を一定にするとともに、若年層から中堅層の昇給幅がやや大きくなるように設定しました。また、昇給・昇格は、人事考課の結果を反映する仕組とし、従来の年功序列的なものから、能力・成果を重視した、努力が報われるものに改めました。

(4) 退職金制度の改革

横浜市の制度に準じた従来の算定方法を見直し、勤続年数と等級毎の貢献度に応じたポイントを付与する方式に移行しました。これにより、単に勤続年数が長期となるだけでは、退職金額が増加しない制度に変更しました。